

青谷町における生活交通の方向性と確保プラン(案)

1 青谷町における生活交通の現状

(1) 鳥取市生活交通創生ビジョンで示した生活交通を取り巻く状況

鳥取市及び青谷町における生活交通を取り巻く現在の状況は次のとおりである。

人口減少と高齢化の進行	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口は減少傾向にあり、今後も人口減少と高齢化の進行が続いていくと推計等では予想されている ● 青谷町の人口は6,131人、高齢化率は38%（平成27年度国勢調査時点）で、推計では令和12年（2030年）に、人口は4,939人、高齢化率は45%に達すると予想されている（鳥取市立地適正化計画の人口推計値より算出） ● 青谷町中心部から離れている勝部地域や日置地域の高齢化率が高い（下図）
生活交通利用者の減少	<ul style="list-style-type: none"> ● 市全体の生活交通利用者数は減少傾向にあり、平成20年に年間196千人だった利用者数は、平成30年には年間187千人まで減少している。 ● 高齢化が進行している中で、高齢者の生活交通利用は進んであらず、運転免許証を持っている高齢者数は大きく増加している。（平成21年に17千人だった65歳以上の運転免許保有者数は令和元年時点で29千人まで増加）
交通空白地域の存在	<ul style="list-style-type: none"> ● 市ではバス停や駅から半径400mより離れている場所を交通空白地域と定義しており、生活交通の人口カバー率は93.4%（平成27年度国勢調査人口より算出） ● 青谷町の生活交通の人口カバー率は91.5%で、露谷や山田、八葉寺といった集落はバス停から離れており生活交通を使いにくい環境にある（下図）
生活交通の維持・確保に係る市支出額の増加	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の減少が続く中、生活交通の維持に係る市の支出額は年々増加傾向 ● コロナ禍による影響を受け、交通事業者の収益悪化や市の支出額増加は避けて通れない状況
生活交通の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ● 近年は生活交通の担い手である運転者不足が以前より深刻化 ● 鳥取県東部における民間路線バスの運転者は、令和元年度時点およそ5割が65歳以上であり、近い将来に急激な運転者の高齢化と運転者不足が予想される ● タクシーについても、平成24年から平成30年までの6年間で全体のおよそ3割にあたる123人の運転者が減少している。また、市内でも収益の悪化等により地域のタクシー事業者が撤退し、タクシーの空白（タクシーを利用できない・利用しにくい）地域が存在している

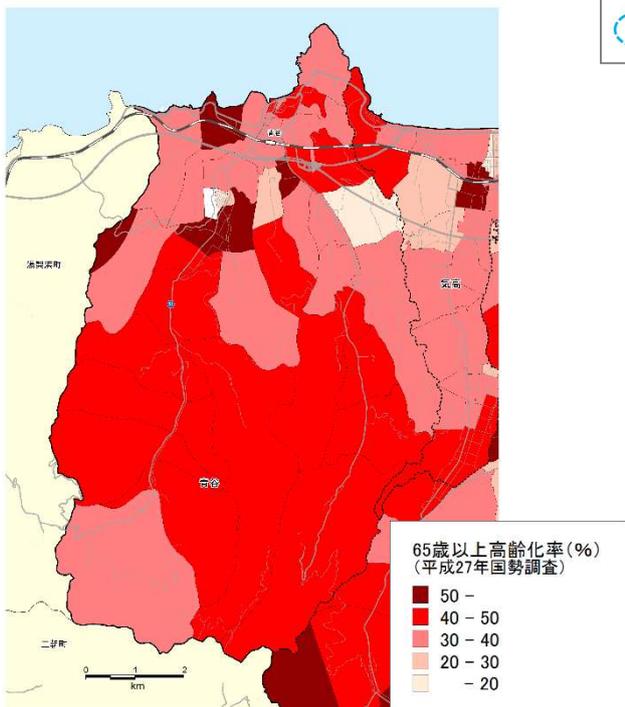


図 65歳以上高齢化率(高齢者の人口割合)

資料:平成27年度国勢調査

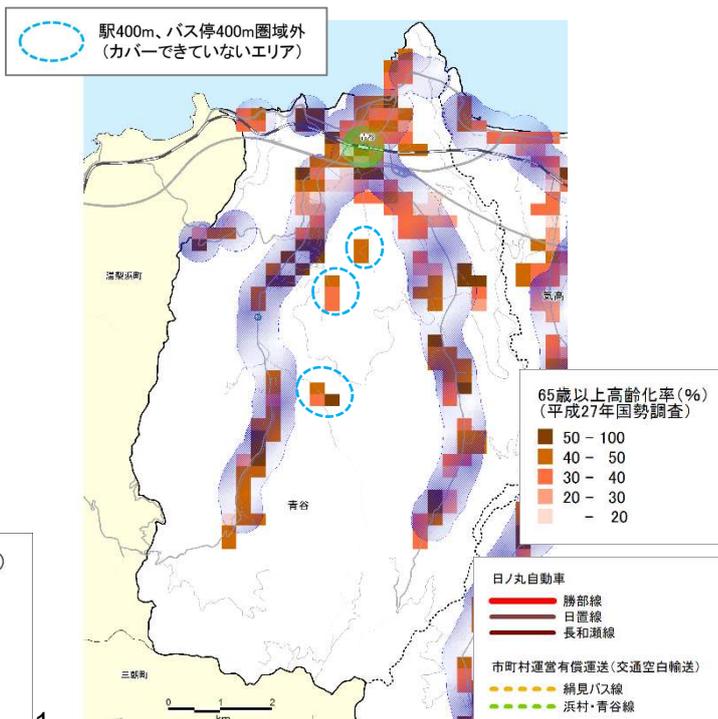


図 青谷町で運行している生活交通とそのカバー状況

資料:平成27年度国勢調査

(2) 青谷町で運行している生活交通の状況

① 青谷町全体の生活交通の利用実態

- 地域の生活交通で、日ノ丸自動車が運行している民間路線バス（勝部線・長和瀬線・日置線）は、各地域と青谷中心部の間を運行しているものの、以前から**子ども（児童）以外の利用が非常に少なく**、これらの路線を維持するために**年間でおおよそ 1,900 万円を市が支出し、維持している**。
- 時間帯別の利用状況を見ると、7 時台と 15 時台に利用が集中しており、利用者の多くは子供である。
- 大人の利用者は 9 時台に集中が見られるものの、**日中の時間帯の利用が非常に少ない**。

表 生活交通の概要と運行に関わる市の支出額

区分	路線名	1 便当たり利用者数	運行に係る市の支出額	特徴
民間路線バス	勝部線・長和瀬線	5.7 人/便	約 983 万円	主な利用者は小中学校の児童・生徒であり、日中の利用者が極端に少ない
	日置線	8.2 人/便	約 933 万円	
市町村交通空白地有償運送	絹見バス	1.2 人/便	約 245 万円	通学利用が多いが、利用者数は年々減少傾向
	浜村・青谷線	1.1 人/便	約 96 万円	令和 2 年 3 月までは乗合タクシーとして運行していたが、運転者不足等により市が運営

※日ノ丸自動車路線は H30 年 10 月～R1 年 9 月までの実績、市町村交通空白地有償運送路線は R1 年 4 月～R2 年 3 月までの実績

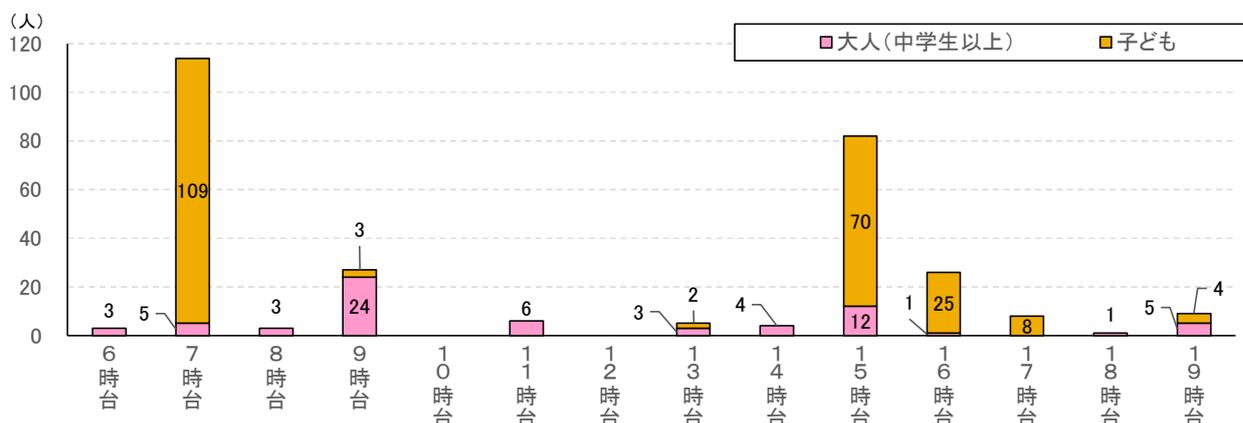


図 勝部線・日置線・長和瀬線の時間帯別利用実態

※利用者数は R2 年に日ノ丸自動車を実施した乗降調査（平日 1 日）より集計

② 青谷町の各地域における利用実態

交通事業者が実施した乗降調査から見た、青谷町の各地域における利用の実態は次のとおりである。

地域	民間路線バスの利用実態
日置	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内では日置線が運行しており、乗降調査における平日 1 日の地域内の利用者数は、63 人（上り・下り計） ● うち大人の利用者数は 24 人（上り・下り計）で、各地域の中で大人の利用が最も多い
日置谷	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内では日置線が運行しており、乗降調査における平日 1 日の地域内の利用者数は、85 人（上り・下り計） ● うち大人の利用は 4 人（上り・下り計）で、ほとんどの利用者は子ども
勝部	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内では勝部線が運行しており、乗降調査における平日 1 日の地域内の利用者数は、23 人（上り・下り計） ● うち大人の利用は 10 人（上り・下り計）で、大人と子どもの利用者数は同程度
中郷	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内では勝部線が運行しており、乗降調査における平日 1 日の地域内の利用者数は、50 人（上り・下り計） ● うち大人の利用は 7 人（上り・下り計）で、ほとんど利用者は子ども
青谷	<ul style="list-style-type: none"> ● 青谷地域のバス停のみで乗降している利用者は、3 路線合計で 19 人（上り・下り計） ● うち大人の利用者数は 5 人（上り・下り計）で、いずれも長和瀬線の利用者

(3) アンケート調査等で把握した移動実態や地域の意向

① 調査概要

- 配布数は6,132部（2,044世帯に3枚ずつ配布）で、回収票は2,433部（回収率：39.7%）

② 主な調査項目と調査結果

調査項目	調査結果（概要）
車の運転や運転免許証の保有状況	● 青谷町町全体では、現在車を持っているが運転に対して不安を感じている人が一定数いる
バスの移動状況	● バスやタクシーは買い物や通院目的で利用している人が多く、買い物目的よりも通院目的で利用する人が多い状況
外出の状況	● 通院や買い物は、 地域内（青谷町内）の施設に移動している人が多く、車を使えない人はその傾向が顕著 ● 通院では市の中心部（旧市域）、買い物では気高地域（浜村町）へ移動している人が一定数いる
日中のバスにおける改善や改善した場合の利用意向	● 現在バスを利用している人や 自由に使える車を持っていない人の回答を集約した結果、無駄のない運行（効率的な運行）や便数の確保（なるべく好きな時間に移動できること） がありがたい運行として多く挙げられた ● 現在のバスが「自宅の近くでバスに乗降できるようになった場合」「自分の好きな時間にバスに乗降できるようになった場合」で利用意向を確認（およそ4割の人が今のバスよりも利用すると回答）
タクシー運賃の割引制度ができた場合の利用意向	● タクシー運賃の割引制度ができた場合の利用意向は、「自宅近くでバスに乗降できるようになった場合」「好きな時間にバスに利用できる場合」と同程度 ● 地域によって支払っても良いと思う金額（自己負担額）は異なっている。
共助交通の利用や協力の意向	● 共助交通が運行した場合の利用意向は、「タクシーの運賃割引制度ができた場合」と同程度 ● 回答者の7.2%（138人）が運転者としての協力することに関心があると答えた

③ 各地域別の特徴

地域	アンケート調査結果で判明した地域の特徴
日置	● 市外の移動では浜村（気高町）の商業施設へよく行く人が一定数いる（57件） ● アンケートで バスを利用していると回答した人は 、日置地域の回答者の2割程度で79人となり、うち月に 3回以上利用している人は33人 ● タクシーを利用している人は 、日置地域の回答者の1割程度で 44人
日置谷	● 市外の移動では浜村（気高町）の商業施設へよく行く人が一定数いる（43件） ● アンケートで バスを利用していると回答した人は 、日置地域の回答者の1割以下（4.0%）で12人となり、うち月に 3回以上利用している人は5人 ● タクシーを利用している人は 、日置谷地域の回答者の1割程度で 26人
勝部	● 倉吉市の商業施設へよく行く人が他地域に比べ多い （27件） ● アンケートで バスを利用していると回答した人は 、勝部地域の回答者の1割程度で27人であったが、うち月に 3回以上利用している人は11人 ● タクシーを利用している人は、勝部地域の回答者の1割以下（6.6%）で12人となり、 割合・人数ともに他地域よりも少ない
中郷	● 市外の移動では浜村（気高町）の商業施設へよく行く人が一定数いる（40件） ● アンケートで バスを利用していると回答した人は 、中郷地域の回答者の1割程度で44人となり、うち月に 3回以上利用している人は18人 ● タクシーを利用している人は 、中郷地域の回答者の1割程度で 45人
青谷	● 浜村（気高町）の商業施設へよく行く人が他の地域より多い（103件） ● アンケートで バスを利用していると回答した人は 、青谷地域の回答者の1割以下（4.0%）で37人だが、 3回以上利用している人は13人で勝部や中郷と同程度 ● タクシーを利用している人は 、回答者の1割程度（43人）で 日置や中郷と同程度